

白川町道路橋長寿命化修繕計画（案）

1 長寿命化修繕計画策定の目的

1) 背景

- ・白川町が管理する道路橋は現在 304 橋あり，供用開始後の年数から高齢化橋梁が増大する。
- ・このような背景から，今後，増大が見込まれる橋梁の修繕・架替えに要する経費に対し，可能な限りのコスト縮減への取り組みが不可欠である。

2) 目的

- ・道路交通の安全性を確保するために，これまでの対症療法的な対応から計画的かつ予防的な対応に転換を図り，橋梁の長寿命化及びコスト縮減を図る。
- ・地域の道路網の安全性・信頼性を確保する。

3 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

1) 健全度把握の基本的な方針

健全度の把握については，橋梁の架設年度や立地条件等を十分考慮して実施するとともに，岐阜県橋梁点検マニュアルに基づいて定期的な点検を実施し，橋梁の劣化損傷状況から健全度を把握する。

2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

橋梁を良好な状態に保つため，日常的な維持管理としてパトロールを実施し，劣化損傷の把握に努める。

4 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針

健全度の把握及び日常的な維持管理を行うことにより，予防的な修繕等の実施を徹底する。このことにより，修繕・架替えに係る事業費の大規模化及び高コスト化を回避し，コストの縮減を図る。

5 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期

今後 10 年間の計画は，別紙計画表の通り。

6 長寿命化修繕計画による効果

修繕・架替えに要する経費については、今後 50 年間で対症療法的な補修等であれば 17.6 億円必要であったものが、長寿命化修繕計画を策定することにより 13.1 億円（▲4.5 億円）となり、約 26%の縮減が見込まれる。

新技術の活用方針

従来技術と新技術を比較検討し、有効なものは積極的に活用し、従来技術から新技術へと「技術の転換」を図り、定期点検の効率化や高度化、修繕費用の省力化や費用縮減を目指します。

費用縮減に関する具体的な方針

【基本方針】

- ・ 管理する橋梁について、機能縮小、複数施設の集約化などの検討を行い、点検・修繕・更新等に係る中長期的な費用の縮減を行い、維持管理の更なる高度化、効率化を目指します。
- ・ 新技術を活用し、定期点検におけるコスト縮減を図ります。
- ・ 修繕工事においては、NETIS 登録技術を活用し、工事の高度化・効率化、工期の短縮等により、コスト縮減を図ります。

【集約化・撤去の令和 5 年度から令和 9 年度までの短期的な数値目標】

- ・ 令和 9 年度までに管理する橋梁 304 橋のうち 30 橋を目標に、小型ドローン撮影等による新技術を活用した修繕を進め、従来技術を活用した修繕と比較して、約 100 万円のコスト縮減を図ります。

【集約化・撤去の令和 5 年度から令和 9 年度までの短期的な数値目標】

- ・ 令和 5 年度時点の点検結果で、判定区分Ⅲの 10 橋のうち迂回路が存在し集約が可能と考えられる 3 橋について、今後、周辺状況や利用調査を基に、令和 9 年度までの集約化・撤去を目指すことで、更新時期を迎える令和 10 年度までに必要となる費用を約 2000 万円程度縮減することを目指します。